

### 第31回 蒲都市新型コロナウイルス感染症対策本部 議事録＜概要＞

日時	令和2年4月23日（木） 8時40分から10時5分
出席者	蒲都市新型コロナウイルス感染症対策本部部員
内容	<p><b>＜愛知県緊急事態宣言発令中＞</b></p> <p>（1）新型コロナウイルス感染症患者について  <b>【健康推進監】</b>  感染拡大が収まっていない。昨日全国448人、県19人。三河でも感染者が出ている。</p> <p>（2）市民からの相談内容について  <b>【総務部長】</b>  市税等の相談3月4日から4月20日で110件（108人）。110件のうち4月が72件。  <b>【市民福祉部長】</b>  福祉課の生活保護の相談は前年度の3月、4月に比べ2倍に増加。社会福祉協議会の緊急小口資金貸付は前年度の3月、4月は5件だったが152件に増加。申請件数33件。  子育て支援課には、「仕事が減らされ就労時間が基準を満たさなくなった。退園になるか」という相談が多い。感染症拡大で就労時間満たない場合も30日猶予の救済処置で対応している。  <b>【健康推進監】</b>  4月10日からコロナの相談窓口を設置。それ以前は227件相談などがあつたが、窓口設置後は6件。もともと相談窓口は開けていた。保健師や栄養士から市民に電話することもあるので、市民からの相談は増えてはいない。  <b>【産業環境部長】</b>  観光商工課に融資に関する相談110件。休業要請・協力金に関する相談60件。協力金については県の説明会が本日午後に開催予定。  <b>【ボートレース事業部長】</b>  払い戻しの相談があり、払い戻し有効期限を延長する。</p> <p>（3）各部からの報告  <b>【産業環境部長】</b>  蒲都市独自の休業要請期間を設けて感染症対策協力金を1事業所あたり25万円交付する。本日午後に説明会があるので、その後、市の体制を整える。各部に応援を依頼。国の1人10万円給付と一緒にプロジェクトを組んで来週説明会を実施する。</p>

**【企画部次長（人事課長）】**

在宅テレワークは企画政策課が4月22日から5月1日まで実施し課題を抽出する。ズームアプリで朝礼。途中ライン、電話で確認。時間外勤務は命じない。本庁からの資料持ち出しは事前申請する。データは原則所属長の判断。貸し出しパソコン、効率性、業務内容、情報セキュリティ、服務規則等検証する。東三河広域連合、幸田町を参考にしている。

**【健康推進監】**

妊婦へマスク、アルコール除菌ジェルを4月27日から配布する。

**【総務部長】**

市ホームページに各部から問い合わせが多かった質問Q&Aを掲載した。

**【教育委員会事務長】**

事業者よりマスク6,400枚（大人用4,800枚、小人用1,600枚）寄付。昨日電話があり、受領に行った。

児童クラブ利用自粛で4月1日の出席率65%。昨日の出席率29.2%で利用自粛が進んでいる。自主登校教室の利用者数は1/8くらいに減少。

小中学校の再開は、市独自では考えていない。学校の臨時休校再開に合わせ児童クラブ、自主登校教室の利用休止を考えたい。国は4月30日の以後で、5連休の早いうちに判断すると言っている。

**<対策本部における決定事項>**

- ・大規模イベントは準備期間が必要なので、前もって判断し関わる団体と協議する